

2022年11月15日

各支部執行部 御中
組合員各位

日清製粉労働組合
中央執行部

第69期 第4回中央執行委員会 報告



日時 : 2022年11月8日(火)11:00から11月10日(木)17:00まで
場所 : 組合本部事務所(山下、赤木、松本、島津、佐々木、松尾、荒井、武井、岡本)

<第4回中央執行委員会 議題>

[討議事項]

1. 「10本の活動の柱」に関する取り組み検討
2. 日清製粉労働組合の本部体制に関する検討
3. 日清製粉労働組合の会議開催方式に関する検討
4. 11月各社労使協議会対策
5. 第1回臨時大会(12月16日)準備
6. その他

[報告事項]

1. 日清エンジニアリング 改正労働基準法適用に伴う社員就業規則改正、労働時間管理の運用変更の申入れ
2. 豪州製粉事業の減損
3. 支部長・書記長会議
4. フード連合関連
5. その他

[討議事項]

1 「10本の活動の柱」に関する取り組み検討

今期取り組む「10本の活動の柱」について、以下の通り議論した。

(1) 活動の柱① 「多様な価値観を踏まえた総合的な労働条件の改善」

2023 春闘対策(賃上げ)

2023 春闘での賃上げ要求については、①物価上昇への対応、②生活水準の維持、③当社の労働条件の優位性の確保という3つの観点と世間動向を十分に見極めて要求の可否を判断していくこととなる。現在の日本経済の一般情勢として、2022年9月時点での消費者物価指数は前年同月比で3%となっている。前年同月比2%を超える水準は6ヵ月連続となる。また労働市場においては、雇用情勢の持ち直しはあるものの、コロナ禍前の水準には戻っていない。このような情勢下で連合は「2023 春季生活闘争基本構想」を発表した。「物価上昇によって働く仲間の生活は苦しくなっており、賃上げへの期待は大きい」としたうえで、「各産業の『底上げ』『底支え』『格差是正』の取り組み強化を促す観点とすべての働く人の生活を持続的に維持・向上させる転換点とするマクロの視点から、賃上げ分 3%程度、定期昇給相当分(賃金カーブ維持相当分)を含め5%程度の賃上げを目安とする」との考えを示している。このような一般情勢及び労働界の動向も勘案すると、賃上げ要求は行うべきと捉えている。要求内容については今後の経済情勢やフード連合の方針、他労組の動向、さらに11月の労使協議会で各社の状況を確認しつつ、冷静に検討する必要がある。第5回中央執行委員会(12月14日-15日)においても引き続き討議事項とし、第6回中央執行委員会(1月16日-18日)で賃上げ要求案を決定することとしたい。

2023 春闘対策(一時金)

一時金要求については、「生活給的側面はあるものの、業績反映要素も加味されていることを十分考慮した上で決定すべき」という日清労組の基本的な考え方に沿って検討を進めていく。また、具体的な要求案作成にあたっては、「前年妥結実績(月数)を起点に、当年度の交渉指標(通期業績見通し)と前年度の交渉指標との比較により決定すべき」という考え方に基づいて決定する。第6回中央執行委員会(1月16日-18日)にて、第2四半期決算時点の通期業績見通しを踏まえ一時金要求水準を検討し、第7回中央執行委員会(1月31日-2月1日)にて、第3四半期決算時点の通期業績見通しを踏まえ一時金要求案を決定することとしたい。

(3) 活動の柱④ 「努力と成果が報われる人事制度の運用チェック」

2023年1月の「組合員アンケート」の設問項目について議論した。働き方改革の取り組み(「適正な労働時間管理」の実態、「働きがい」に関する意識、「業務改革」の取り組み進捗)や人事制度の運用チェック、多様な人が働きやすい職場づくりといった切り口で、内容をブラッシュアップする予定である。

(4) 活動の柱⑤ 「こころとからだの安全サポート」

安全衛生分科A・B委員会について、今期より新しく見直したフローで活動を開始しており、今後の進め方について改めて確認を行った。また、各支部からの相談事項について共有し、今後の対応について協議した。

(5) 活動の柱⑥ 「現場の事実に基づいた本音の労使協議」

支部労使協議会スケジュールについて中執内で共有を行った。12月以降に支部での労使協議会が本格化していくため、昨年度の組合員アンケートの内容などから、各支部での労使協議について、必要に応じ担当中執による支部訪問等を通じてフォローしていく。

(6) 活動の柱⑦ 「合理化3原則に基づいた労働生産性の向上」

2023 春闘に向けた「頑張りの声」の事前集約を行ったところ、各支部より多くの「頑張りの声」が届いた。意見を取りまとめていただいた支部執行部ならびにご協力いただいた全ての組合員に、心より感謝申し上げます。本部に寄せられた一つひとつの「頑張りの声」を確認しており、その内容や支部ごとの課題については、各支部にフィードバックしていきたいと考えている。

(7) 活動の柱⑨ 「地域のボランティアをはじめとした社会貢献活動の推進」

「連合 愛のキャンパ」についての本年度の取り組みについて確認した。また、本部主体の取り組みとして実施予定の外貨募金について内容を確認し、実施時期を討議した。これまでのフードバンク代替の時期となる1月も検討したが、愛のキャンパとの時期が近いことから、春闘後に時期を見て実施する予定としたい。

(8) ビジョン全体に関する取り組み

【支部活動運営部】：ナイスアクション大賞 for vision

第69期の「ナイスアクション大賞 for Vision」について、今後の進め方を討議した。

「ナイスアクション大賞 for Vision」については、12月16日に予定される支部代表者会議で各支部の支部長より発表していただく予定である。

2 日清製粉労働組合の本部体制に関する検討

70期に「専従4名・非専従4名体制」を目指すうえで、具体的な構成及び委員会の担当に関する議論を行った。また、将来の「専従5名体制」に向けて想定される課題（費用面、選出時の原籍会社・職種のバランス、現場の生の声の収集）については引き続き会議体、支部訪問を通じて検討を進めていくため、今後とも連携をお願いしたい。

3 今後の会議開催方法に関する検討

支部訪問での各支部ヒヤリング結果に加え、支部長・書記長会議で実施したグループワークでの意見を踏まえて協議を行った。特に論点として、「臨時大会のWEB開催」「対面会議のハイブリッド開催の是非」について議論した。

定期大会	最高決議機関であり、組合としての1年間の方向性を定める場。 新旧中央執行委員と代議員が一同に会し、足並みをそろえること、本部と支部、支部間のコミュニケーションを取ることが重要かつ必要であり、全代議員の対面参加を確実に求める年間唯一の会議体としたい。代議員がどうしても参加できない場合、代議員代理が参加することとし、それが
------	---

	難しい場合には委任状の提出とする。
臨時大会	最高決議機関であるが、開催前のオルグ等で十分に議論が深まっていること、全代議員が最高決議機関に参加している認識を持つことを前提とし、WEB開催を基本とする。
支部長・書記長会議	期初に実施するものであり、支部書記長は他支部との唯一の交流機会となる。原則対面参加とし、支部長・書記長がどうしても参加できない場合は代理者を派遣願いたい。
支部代表者会議	大会決議に向けて本部と支部が意見交換する貴重な場であるため、原則対面参加を求めたい。支部長が対面参加難しい場合にはWEB参加とし、WEB参加も難しい場合には代理者を派遣願いたい。
臨時支部代表者会議	短時間で本部より情報伝達を目的とする会議であり、WEB開催とする。

※:どうしても参加できない場合、とは、本人の体調、慶弔を基本的には指している。

業務都合に関しては、年間スケジュールを早めに確認し、まずは職場内で調整する努力を行った上で、いかんともしがたい場合にはご相談いただきたい。

4 第1回臨時大会(12月16日)準備

12月16日に開催予定の第1回臨時大会について、その議案内容などを討議した。

12月2日までをめどに議案書が各支部着となるため、各支部では12月5日～15日を職場討議期間として議案への賛否を討議願いたい。

5 11月各社労使協議会対策

11月14日から実施される各社労使協議会について、質疑案を確認した。

[報告事項]

1 エンジ 改正労働基準法適用に伴う社員就業規則改正、労働時間管理の運用変更の申入れ

10月18日にエンジより申入れが行われた表題の件について、エンジ会社と合同にて実施した説明会及び東京・上福岡研究所支部からの意見集約内容を共有した。

第1回協議は11月15日に実施。

2 豪州製粉事業の減損

10月19日に発表された豪州アライド・ピナクル社の大幅減損について、内容を確認した。

減損は特別損失として計上されるため、一時金交渉指標となる「経常利益」は赤字とならないが、会社の純利益が大幅赤字となることに対しては危機感を持つ必要がある。

今後の豪州事業の計画とその進捗を会社にもよく確認していく。

3 支部長・書記長会議

10月14日(金)にUDX秋葉原ギャラリーNEXT1で開催。出席者は、各支部の支部長及び書記長36名。内容は以下の通り。

<プログラム>

【第1部:外部講演(自由参加)】

「ファシリテーション能力の向上」(J-Union)

【第2部:全体説明】

- ・ 第69期「10本の活動の柱」に関する取組み
- ・ 日清製粉労働組合の今後の本部体制に関する検討について
- ・ 日清製粉労働組合の今後の会議開催の考え方について
- ・ 第69期本部役員選出

【第3部:グループ別討議】

- ・ 支部間・支部内でのコミュニケーションをより活発にするために
- ・ 臨時大会のWEB開催の是非について
- ・ 対面前提の会議のハイブリット開催の是非について

<第69期の本部役員選出>

組織強化運営委員及び安全衛生分科A・B委員を以下の通り決定した(氏名/所属支部)。

組織強化運営委員		安全衛生分科A委員		安全衛生分科B委員	
赤木 剛	本部	赤木 剛	本部	島津 浩介	本部
松本 雄哉	本部	松尾 成樹	本部	武井 友里恵	本部
平泉 公孝	函館	稲員 高節	函館	島田 健太郎	仙台
溝 康司	名古屋	赤羽 秀幸	上田	櫻井 賢克	東京
角田 久幸	東灘	菅澤 遼	千葉	加藤 裕哉	名営
酒井 豊和	福岡	溝 康司	名古屋	海老原 遥	大阪
		平松 昌夫	岡山	久保田 晋平	福営

4 フード連合関連

フード連合 製粉部会 第1回三役会議

日時:10月18日(火) 場所:高崎

製粉部会の今期の実施計画にある視察関連、勉強会等の活動の詳細について議論を行った。
当労組から山下委員長が出席した。

フード連合 第1回産業政策委員会

日時:10月25日(火) 場所:東京都内

産業政策委員の役割を確認したうえで、2022年度の運動方針や実施計画、取引慣行アンケート

ト集約状況、フードバンク活動の支援、政治活動に関する取り組み等について確認した。また、「業種別部会政策」の推進と実現、「食の安全・安心」の確保に向けた強化月間の振り返りと今年度の取り組みについて協議した。当労組から松本書記長が製粉部会産業政策委員として参加した。

[今後のスケジュール]

11/14	労使協議会(グループ本社)
11/15	労使協議会(製粉)・第1回労使協議(エンジ労働時間管理)
11/17	労使協議会(エンジニアリング)
11/18	労使協議会(ウェルナ)
11/21	労使協議会(ファルマ)
11/22-12/8	第2回支部訪問
12/9	支部リーダー研修
12/14-15	第5回中央執行委員会
12/16	支部代表者会議・第1回臨時大会
1/16-18	第6回中央執行委員会
1/31-2/1	第7回中央執行委員会

※ 今後の新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、やむを得ず開催を延期・中止せざるを得ない場合があることを、予めご承知置きいただきたい。

以上